第６４回通常総会・総会懇親会

第６４回通常総会

平井会長挨拶

[第６４回通常総会]

１　開催日時　　平成２８年５月１８日（水）１５時００分～１６時００分
２　開催場所　　生田神社会館　３階　菊
３　出席会員　　１３４社（委任状提出　５９社を含む。）
４　結果

（１）　会長挨拶（要旨）

本日は、現役員の任期満了に伴う役員改選を含め、多くの報告事項、審議事項がありますので円滑な総会運営に会員各位のご協力をお願いいたします。

さて、最近、不正といいますか、自動車の燃費、オリンピック招致に関する資金提供、或いは耐震偽装など様々な問題が毎日のように出てきます。本当に残念なことが次々と起こっており、日本の国がどうなってきているのかとさえ思います。利益を求めるということを余りにも考えすぎている、ということが一つ大きな要因であるのではないかと思います。

利益は、売上から経費を引いて算出されますが、そういった方程式の発想のみにとらわれず、木に例えれば、まず地面を耕し、きっちりと肥料を施し、水をやって育てていかないと良い果実が得られないように、普段から心を引き締め、社員教育をしっかりやって、よりよい成果が得られるような土壌を育んでいくということが何よりも大切であると思います。

我々の仕事は、人の命を預かる仕事です。それでこそ技術力が一層磨かれ、本当にいいものを顧客に提供でき、顧客の皆様に喜んでいただくという我々の求めるべき一番大事なことの実現に繋がるものと考えます。

そしてそれは、同時に社員、協力会社、いろんな関係者の皆様が幸せになっていくという形でないとだめなのだろうとも思っています。顧客の皆様の幸せと社員、関係者の幸せを掛け合わせたものが利益になる、という意識を持って仕事に当たるということを改めてみんなで考え、我々の業界からあのような問題が出てこないよう心を引き締めてやっていきたいと思います。

本日の総会は、新しい役員の選任と同時に協会の次の時代に向けて進む道を考えていく機会ともなる大事な総会です。各位のご協力をよろしくお願いいたします。

（２）　議長選出

平井伸幸会長を議長に選出

（３）　議事録署名人指名

議長が定款に基づきダイトウ電気工事㈱大川理事及び栄興電機工業㈱小坂哲二理事を指名

（４）　議事

ア　報告事項

第１号報告「平成２７年度事業報告に関する件」、第２号報告「平成２８年度事業計画に関する件」及び第３号報告「平成２８年度収支予算に関する件」の３件の報告が行われました。

イ　審議事項

第１号議案「平成２７年度収支決算（案）に関する件」、第２号議案「正会員会費改定の件」及び第３号議案「任期満了に伴う役員改選に関する件」のいずれもが、満場一致で可決承認されました。

ウ　その他

小山副会長から熊本地震災害に対し協会から義援金２０万円を拠出し、本日の総会懇親会の席上「平成２８年熊本地震災害兵庫県義援金募集委員会」会長の井戸兵庫県知事に贈呈する旨、報告が行われました。

（５）　総会終了宣言

司会者から第６４回通常総会を終了し、閉会するとの宣言が行われました。また総会の終結に伴い、現役員の任期が終了した旨アナウンスされました。

［理事会の開催］

総会の終了直後３階の「梅」において理事会が開催され、会長に小山惠生理事、副会長に前田　潮理事、小坂哲二理事、合田吉伸理事、専務理事に北野信雄理事が選定されました。また総務委員長に大川康太郎理事、技術・安全委員長に栗原直樹理事、経営委員長に藤井洋平理事を委嘱すること及び各委員会の副委員長、委員の委嘱も決定されました。また地区担当理事が選任されました。

理事会を開催

［再　開］

１６時２０分から会を再開し、以下の次第を執り行いました。

１　理事会の結果報告

会長等の選定結果及び委員、地区担当理事の選任結果並びに平井前会長に相談役を委嘱することが決定された旨、報告が行われました。

２　新会長挨拶

小山惠生新会長から、改めて会員各位のご協力をお願いしたいとの挨拶が行われました。

３　特別表彰

永年にわたり役員を務め、このたび退任された平井伸幸氏、山口節夫氏、寺坂睦博氏、中谷　勉氏小東敬三郎氏、宮崎和郎氏に対し、小山会長から感謝状並びに記念品が授与されました。

４　平成２７年度永年勤続優良従業員表彰

会員企業から推薦のあった、永年にわたり勤務し、勤務成績良好で他の模範となる次の５名の方々に対し、小山会長から表彰状並びに記念品が授与されました。

・坂本芳樹氏（ミナト電気工事㈱）　・佐々木安男氏（東洋電気工事㈱）
・森　健一氏（㈱谷電気）　・山口　太　氏（尼崎電機㈱）
・稲垣　浩氏（栄興電機工業㈱）

特別表彰

永年勤続優良従業員表彰

５　新入会員紹介

平成２８年４月１日正会員として入会いただいた栄藤電気株式会社様、ＬｉＶエンヂニアリング株式会社様、賛助会員として入会いただいた株式会社扶洋神戸営業所様、マックスレイ株式会社大阪支店様の紹介が行われました。

６　青年部会活動報告

日常、業界の発展に努力されている青年部会の活動を会員にアピールするため、山口青年部会長から青年部会の平成２７年度活動状況報告が行われました。

７　お礼の言葉

前田副会長から長時間に及ぶ本日の会に対する会員の協力に対し、感謝の言葉が述べられました。

[総会懇親会]

午後５時３０から同会館４階富士において、井戸兵庫県知事、荒木副知事をはじめ兵庫県及び神戸市等幹部、関係団体代表等のご来賓をお迎えし、正会員・賛助会員合わせ総勢１５９名の参加のもと第６４回通常総会懇親会が開催されました。

懇親会の席上、小山会長が挨拶に先立ち井戸知事に熊本地震災害義捐金を贈呈するとともに、新会長としての挨拶が述べられました。

小山新会長挨拶

井戸知事祝辞

（小山会長挨拶要旨）

先ほどの総会・理事会で会長職を拝命いたしました。皆様方のご協力を心よりお願い申し上げる次第であります。

会長として私の抱負を３点述べさせていただきます。まず、１点目は、会員の増強です。現在の会員数は正会員１４４社、賛助会員２２社の計１６６社ですが、正会員１７０社、賛助会員３０社計２００社を目標に会員増強に取り組んでいきたいと考えております。

入会のメリットをよく言われますが、私自身は、入会してみれば人と人との輪、企業と企業の輪が深まり、会社発展の一助になると感じていただけるものと強く考えております。メリットばかりを求めるのではなく、協会に入り、それを自らアピールし、協会活動に参加するということをまず考えていただきたいと思っており、改めて皆様方に、いわば入会の声かけ運動をお願いするところです。

２点目は、担い手確保問題です。我々の業界も人手不足、技術・技能の継承など切実な問題を抱えております。これらを打開するため、兵庫県高校教育研究会と連携し県下の高校生のインターンシップを受け入れ、また電気設備業界に目を向けてもらおうと今月末に開催される日本電設工業展に高校生を招待することとしています。一方では、兵庫県のご支援で設立されました兵庫県建設業育成魅力アップ協議会や建設業界団体で組織される兵庫県建設産業団体連合会の活動に参画し、同じ問題を共有する立場から担い手確保の問題にしっかり取り組んで行きたいと考えております。

３点目は、協会、業界の認知度アップの問題です。他の建設関連団体と比べますと認知度が非常に低いのが悩みです。ＣＭなどは予算的には困難ですので、元気な電業協会としてイメージしてもらえるよう活動を活性化し、また次世代の経営を担う協会の青年部ともジョイントし、地道に業界の認知度を高める努力をしていきたいと考えております。

本日ご来賓をはじめ多数の方々にご出席賜りましたことに感謝を申し上げ､開会の挨拶といたします。

（井戸知事祝辞要旨）

小山会長から力強い挨拶をいただきました。これからも会長を中心に電業協会の皆様が結束を強め、ご発展されることを心から期待申し上げます。

さて本日、１～３月期のＧＤＰ速報値の発表がありましたが、前期対比で０．４％、年率換算で１．７％のプラス成長でありました。名目では０．５％、年率換算で２％であり、名目が実質を上回っていることは大変意味のあることと思っています。日本はようやく長いトンネルを抜けつつあるのではないかと期待をしています。内訳は、消費が伸びていますが、設備投資が少し落ちています。円高の影響があるのかも知れませんが、年後半の設備投資に期待をしたいと思います。

今月の末に伊勢志摩サミットが開催されますが、テーマは世界経済です。世界経済がテーマですから安倍総理は、消費税をどうするのかという意味ではなく、Ｇ７の議長としての役割を果たすためにノーベル賞の経済学者に、世界経済の動向を見据えた時にどの様な対応をすべきなのかヒヤリングをされたのだと私は思っています。共通していたのは、今の段階では金融政策だけでは難しい。構造改革は必要であるが直ちに効かない。従って財政政策が主役、主導を果たさなければいけないということではなかったかと考えます。

そうするとサミットの後に、議長国の責任として財政出動を相当思い切ってやってこられる可能性があります。といいますのは２８年度の予算執行は前半で８０％契約します。我々もそういう目標で努力していますが、そうするとどうやって後半を乗り越えていくのかということになりますので、８０％が決められた時点から補正が必定と思っておりました。サミットが終わってからでないと消費税の取り扱いがはっきりしませんし、補正の最終的な方向も出てこないのではないかと思いますが期待したいところです。

会長から皆様方のご厚志を頂戴しました。熊本地震に対しては４月１４日に直ちに先遣隊を派遣するな

ど本県をはじめ関西広域連合が一体となって支援を続けております。これからの課題は、避難所にまだ１万人近い人々がおられることです。栄養不足や持病などを抱えておられる方々、心のケアの問題への対応などいろんな課題があります。仮設住宅の整備、罹災証明発行の前提となる被害状況調査が急がれます。生活再建のために災害瓦礫、災害ごみを出きるだけ早く処理していかなければなりません。

最後になりましたが､小山新会長をはじめとして電業協会の皆様方が益々発展していかれることを祈念しお礼とお祝いの挨拶といたします。

[　主な行政関係出席者(敬称略)　]

井戸敏三（兵庫県知事)、荒木一聡（兵庫県副知事)、松本隆弘（兵庫県議会議員・協会顧問)、髙田巖（元神戸市会議員・協会顧問)、大久保博章（県防災監)、三石真也（県理事)、小南正雄(県まちづくり部長)、春名克彦（県環境管理局長)、衣笠達也（県県土企画局長)、福本豊（県住宅建築局長)、寺谷進（県企業庁次長)、高木泰幸（神戸市設備担当部長)、大町勝（県住宅供給公社理事長）

熊本地震災害義援金を贈呈

懇談風景